

02 移動動物紹介

03 今年生まれたベビーたち

04 特集1

### 森のびょういん

06 特集2

### ゼニタナゴ保全活動

08 飼育レポート

アムールトラ／イヌワシ／ビーバー

10 親と子のふれあい写生大会

10 飼育日記

11 サマースクール

12 かたばた通信



表紙の写真: アムールトラ

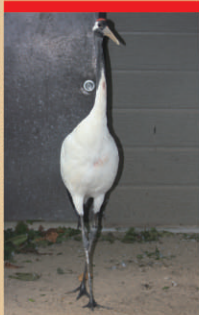
アムールトラは世界中の動物園で468頭が飼育されていますが、国内での飼育数は55頭(飼育園数25園)です。(2007年12月31日現在、日動水調べ)野生での生息数も減少していて、絶滅の危険性が高いと考えられていますが、今年の3月6日、ウィッキー(オス・8歳)とアシリ(メス・8歳)との間に双子の赤ちゃん(両方メス)が誕生しました。大森山動物園で繁殖がみられたことは大変貴重なことといえます。一般公募により、「アルル」と「ミルル」と名付けられました。(表紙はアルル。目の上の模様が、見分けのポイント。)命名してくれたのは、秋田県内の小学生兄弟。「仲のよい姉妹・兄弟をイメージして、やさしく、響きの似た名前を選びました。」とのことでした。

## こんにちは さようなら 移動動物を紹介します

新



左がミッチー



### タンチョウ

上野動物園から雌のミッチー(3歳)が加わりました。江戸っ子のミッチーはスタイル抜群。元気がある一方、憶病で神経質なところも。本園のシゲタとお見合いをしたところ、相性は悪くないようで、二羽の新婚生活は順調です。

担当者  
から一言

野生では相性が合わないと思われがちですが、飼育下では、そうもいかず飼育担当者が相性を判断しなければなりません。ツルのペアに幸あれと願っています。

出



アオイ



マリー

### シフゾウ

雄の導入が難しく、本園での繁殖が見込めないことから、借受け中の2頭のシフゾウ「アオイ」と「マリー」を多摩動物公園と安佐動物公園に搬出することにより種の保存をはかることにしました。今回の搬出により、本園でのシフゾウの飼育・展示も終了しました。

担当者  
から一言

既に野生個体は絶滅し、飼育下でしか生息していない希少動物。是非、繁殖に成功してもらいたいです。

出



02



### チンパンジー(J太郎)

平成17年11月22日にボンタとジェーンの間生まれ、これまで人工哺育で育てていたJ太郎ですが、このままでは生涯、群れに戻れなくなる恐れがあるため、同じようなチンパンジーを群れに戻した経験をもつ静岡県の伊豆シャボテン公園へ預けました。

担当者  
から一言

いろいろな思い出があり、いなくなるのはやはり寂しいのですが、すべてはJ太郎のため。立派なチンパンジーになって戻ってきてほしいです。

### 飼育動物数

類	種数	点数
哺乳類	55	315
鳥類	49	193
爬虫類	11	28
両生類	2	8
魚類	4	15
合計	121	559

平成20年9月末現在